



第25代専如ご門主様 ご親教(ご法話)の様子



第52号

発行所

浄土真宗本願寺派 本願寺神戸別院  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号

Tel: 078-341-5949

# ご門主様ご親修 報恩講法要 勤まる

十一月二十六日(月)から二十八日(水)にかけて、当別院の報恩講法要をお勤めさせていただきました。

報恩講法要は、親鸞聖人三十三回忌にあたる永仁二年(二二九四)、親鸞聖人の曾孫である本願寺第三代覚如上人が『報恩講私記』を作り法要の次第を定め聖人のご苦勞を偲ばれたことに始まります。また、翌年には『善信上人絵』(のちの『本願寺聖人親鸞伝絵』二巻)が著され、さらに蓮如上人の明応五年(二四九六)の御正忌報恩講から、御絵伝を奉懸し『御伝鈔』が拝読されるようになりました。それより七百二十年以上、聖人のご命日を縁として脈々とお勤めされ続けてきた法要です。この法要は、私たちがありのままの姿でお浄土へ生まれていく道を、生涯をかけて伝えてくださった聖人のご苦勞に感謝し、私たちにお伝えいただいた阿弥陀如来のお救いを喜ばせていただく、浄土真宗のみ教えを聞かせていただく、私たちにとって一年で最も大切な法要です。

特に今年の報恩講の初日、二十一日の逮夜法要では、宗祖親鸞聖人から数えて第二十五代の専如ご門主様が導師をお勤められる「ご親修法要」の尊いご縁をいただきました。これは神戸別院としては初めてのご縁であり、重ねて尊いことでありました。お勤めの後、ご門主様のご法話(ご親

教)と呼ばれる)をいただきました。

専如ご門主様は、お話の中で、「ただいま皆様とともに本願寺神戸別院報恩講をお勤めさせていただきました。門主となって初めての神戸別院での法要であります。今後もこのようなご縁を多くいただければありがたいと願っております。さて、報恩講は親鸞聖人のご恩を偲び、親鸞聖人が説かれた浄土真宗のみ教えを、あらためて深く味わわせていただくご縁であります。本年の報恩講にあたり、浄土真宗のみ教えに基づいた、私たち念仏者の生き方を考えてみたいと思います。

昨年築地本願寺でおこなわれた「伝灯奉告法要首都圏協賛行事」のシンポジウムにおいて、『SDGs』ということを取り上げました。『SDGs』(持続可能な開発目標)は、二〇一五年に国連で全会一致で採択されたもので、地球環境と人々の暮らしを持続的なものとするため、深刻化する地球規模の課題にともに取り組み、人類の未来を切り開いていくことをめざしたものです。「誰一人取り残さない・No one will be left behind」を理念として、そこで取り上げられた課題には、二〇三〇年までに達成する貧困・教育・ジェンダー・不平等・平和など世界を変革するための17の目標が掲げられています。その背景には、今のままでは、人間が存在することのできない地球になってしま



軽快な口調で話されるご講師・岩間行則師

うという強い危機感があります。そして私たちの宗門では、今年度より「貧困の克服に向けて」Dana for World Peace〜一子どもたちを育むために〜という取り組みが始まっています。阿弥陀様のおはたらきの中で、自己中心的な身であるということ知らされている私たちであるからこそ、私を悲しんでくださっている阿弥陀様のお心を思えば、その生き方は、他者のよこび悲しみを自らのよこび悲しみとするような生き方へと転ぜられるのではないのでしょうか。そしてそこから社会の諸課題に積極的に取り組むという姿勢も生まれてくると思います。

今年の報恩講にあたり浄土真宗のみ教えを依りどころとする念仏者の生き方をともどもに考え、今日からの日々を過ごして参りましょう。本日はようこそご参拝くださいました。」



27日にご奉仕されたお齋(炊き込みごはん)

と述べられ、宗祖親鸞聖人のみ教えに基づいた、これからの念仏者の生き方をお示しくださいました。

ご講師には、岐阜教区西本寺住職、元ビハーラ本願寺施設長の岩間行則師をお迎えし、阿弥陀如来さまのお心を笑いを交えながらお取次ぎいただきました。参拝された方々の笑顔が絶えない三日間でした。

また、二十七日の中日の昼食には、本願寺神戸別院仏教婦人会の皆様のお世話による『炊き込みごはん』・『おすまし』のお斎の接待が、参拝者に振る舞われました。温かい心づくしのお料理にホールが賑わい、参拝者の方々は、懐かしさと温かさを感じられていたようでした。

この三日間の参拝者数は例年を大きく越え、盛会裏に法要を終えることができました。

### 仏教婦人会 秋の研修旅行

十月十二日(金)、本願寺神戸別院 仏教婦人会秋の研修旅行が実施されました。目的地は奈良教堂・奈良教務所でした。今回奈良教堂へ研修旅行のご縁をいただきましたのは、元神戸別院職員の岡橋大誠さんが現在奈良教堂に勤めていらつしやることから、今回の研修旅行となりました。

当日は、九時に神戸別院に集合し、秋の心地いい天気の中、一時間半ほどバスに揺られました。穏やかに広がる田園風景を眺めていると、目的地である奈良教堂に着きました。

到着してお茶をいただき、少し休憩をとってから、皆さんと一緒に重誓偈のお勤めをいたしました。

昭和四十九年奈良教堂は教堂として寺号を与えられ、歴史は五〇年になるそうです。お勤め後、奈良教堂 稲本広正主管より教堂の歴史をご説明いただき、一時間ほど見学させていただきました。職員のみなさんに見送られ、奈良教堂を後にしました。

昼食は一時間ほど移動し、黄檗宗大本山満福寺にて普茶料理をいただきました。普茶料理は黄檗宗の開祖 隠元禪師が中国から伝えた精進料理で、「普茶」とは「普く(あまねく)大衆と茶を共にする」という意味を示

すところから生まれた言葉です。普段あまり口にできない品々を婦人会の皆さんと大変おいしくいただきました。

昼食後は満福寺を散策し、中国の文化を象徴する装飾の数々を拝観しました。浄土真宗の本堂とは異なるところもたくさんあり、それぞれに興味深く見学させていただきました。

満福寺で昼食をいただいた後は、平等院を拝観いたしました。平等院といえば、修学旅行で行くイメージですが、その日は外国の方が多く来られていました。

神戸別院には五時頃帰院し解散いたしました。一日行動でしたので皆さんお疲れが出ていたように見えましたが、「また参加できたらいいね」とお声をいただきました。

皆さまもぜひ、神戸別院仏教婦人会の活動へご参加ください。



奈良教堂主管稲本さん、元職員の岡橋さんと集合写真

モダン寺子ども会  
活動レポート  
秋の遠足〜須磨海浜水族園〜

神戸別院では、毎月モダン寺子ども会を開催しています。十月十七日(土)、「秋の遠足」として「須磨海浜水族園」へ行きました。

秋空の中、参加してくれた子ども10名を連れて、神戸別院を出発しました。神戸駅から電車にして4駅揺られ、須磨海浜公園駅に到着しました。

到着するとすぐに子供たちは水槽へ駆け寄っていき、不規則に動きまわる生き物たちを水槽にかじりつきながら見学していました。一つ一つに夢中になって見学していたため、予定が遅れてしまいましたが、イルカショーや



シートを広げてみんなで弁当を食べました



水槽にならんでイルカとタッチ!

イルカとの触れ合いのメインスケジュールには無事に参加できました。

お昼ごはんは、すっきりと晴れた秋の青空のもとにシートを広げ、お母さん、お父さんを作ってもらったお弁当と一緒に食べました。

お昼ごはんの後も見て回りましたが、夕方になれば帰る時刻となります。時間が過ぎるのは早いもので、あつという間に帰る時間になったと感じた子どもも多くいたようです。

全員怪我なく無事に帰ってくることでできました。体力はまだあり余っていたのか、解散の前になっても別院の中で走り回る元気な姿が見られました。

最後に遠足の感想を聞くと、口々に「楽しかったよ」と答えてくれました。子どもたちの笑顔が印象に残った遠足となりました。

兵庫・岡山テレホン法話集

「育ち盛り」

兵庫教区 神戸湊組 教覚寺

別所法宣

以前、ある先生の喜寿の祝賀会に出席しました。その席で先生のご挨拶があったのですが、その冒頭でこのようなことをおっしゃいました。「私はこの年になっても、まだまだ育ち盛りです。」と。

この言葉を聞いたとき私は、小学生や中学生が育ち盛りというのはわかるけど、七十七歳のおじいさんが育ち盛りなんて、おかしなことおっしゃるんだなあと感じていました。

しかしその後をお聞きしてありますと、その意味が分かりました。それは肉体が育ち盛りという意味でなく、ご法義と向かい合うことで、ご法義に育まれ、新しい出会いや気づきに、日々心が豊かに育てられているという意味でありました。

お聴聞の場において、特にご門徒様方の間で昔からよく「お育てにあずかりました。」という言葉

を耳にします。

思いますに、私たちの日暮は全く予想が付きません。私の思いや都合に反して、「どうしてこんな目に遭わないといけないのか。」「今までこんなことなかったのに。」と、年齢を重ねるたびに、このような場面が次から次へとやってきます。

ご法義に遇うということは、ままたまならないことを諦めてしまうのではなく、このような世界に恵まれたのちであり、思うようには運ばない世界と聞かせたいだいていくことであります。そしてこの私たちがひとりひとりを何よりも大切に育み、導いて下さるのがご本願であると聞き受け、嬉しいこと、悲しいこと、辛いこと、いろんなことひとつひとつをよすがとして、お念仏を相続させていただくのであります。いくつになっても育ち盛り。南無阿彌陀仏、南無阿彌陀仏と阿彌陀様のご恩を報じていくのであります。

お電話・ホームページでも  
聞くことができます。  
TEL 078-341-8546



## 2019年 神戸別院 年間行事予定

1月1日(火)	元旦会
1月17日(木)	阪神・淡路大震災物故者総追悼法要 「いのち」を考える研修会(講師:綾戸智恵氏)
1月20日(日)	神戸別院仏教婦人会報恩講法要
3月20~22日(水~金)	春季彼岸会(21日:納骨者総追悼法要)
5月26日(日)	宗祖降誕会
6月23日(日)	永代経法要
8月1~3日(木~土)	モダン寺暁天講座
8月15日(木)	盂蘭盆会
9月22~24日(日~火)	秋季彼岸会
11月26~28日(火~木)	報恩講法要
12月31日(火)	除夜会
毎月第1土曜日	第一土曜仏教講座
毎月15日・16日	常例法座
毎月第3土曜日	土曜講座(別院職員が担当)

その他

- 仏壮の集い 毎月 16日
- 仏婦定例法座 毎月 7日
- モダン寺子ども会 毎月 1回



### 神戸別院 春季彼岸会

**期日** 3月20日(水)  
~3月22日(金)  
午後2時から

**場所** 3階本堂

※3月21日(木)は、神戸別院仏教婦人会の皆さまによるおはぎのご接待がございます。また、神戸別院へご納骨された方の追悼法要を併修いたします。

お参りのご希望は、  
本願寺神戸別院(モダン寺)まで  
☎078-341-5949

五十回忌	昭和四十五年
三十七回忌	昭和五十八年
三十三回忌	昭和六十二年
二十七回忌	平成五年
二十五回忌	平成七年
二十三回忌	平成九年
十七回忌	平成十五年
十三回忌	平成十九年
七回忌	平成二十五年
三回忌	平成二十九年
一周忌	平成三十年
(年忌)	(ご逝去の年)

### 【平成三十一年年忌表】